

[有明抄] (2018.4.27)

○共同通信社の憲法世論調査を見て(4月26日付1面・7面)、自分の意見をまとめよう。



年 組 号 (氏名)

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

Blank box for writing a title.

- ① 9条の改正について
- ② 天皇制のあり方について
- ③ 女性天皇を認めることについて

有明抄

「究極の首相案件」とされる憲法改正。共同通信の世論調査によると自民党改憲案については否定的意見が多かったようだが、国民にはまだまだ実感がない」というのが正直なところかもしれない。少し憲法の話をして日本国憲法の歴史を振り返る。◆日本のいろいろな法令、つまり省令・規則から政令、法律、条約へと順に積みあげると、そのピラミッドの一番上に日本国憲法がある。憲法は日本の法秩序の頂点に座する特別なものだ◆では憲法と法律の関係は。憲法は国家統治の大原則を定めた最高法規で、国が守るもの。一方、法律は統治の手段で、国民が守るもの。法律は万能とされるが、背くことができない唯一の存在が憲法である。国政選挙における「1票の格差」は、それを象徴するものであろう◆憲法はこの国にもあるが、第2次世界大戦終結以降、世界各国の改憲の表情には驚いてしまふ。改正手続きは一律ではないが、例えばドイツの「連邦共和国基本法」は実に改正60回。フランス24回、イタリア15回、アメリカ6回◆わが国で国民投票が必要な憲法改正がなかったのは、いわゆる「9条」の解釈と考え方がなかなか相容れないまま―といった独特の事情があるからか。果たして日本での改憲論がどうなるか。その是非はともかく、大切なのは国民すべてがまずは関心を持つことである。(賢)

Large grid of boxes for writing answers, with dotted lines for readability.

35

30

25

20

15

10

5